

# 集落営農法人連合体 のすすめ

第3の担い手「連合体法人」の設立

令和6年7月9日

山口県集落営農法人連携広域コーディネーター

石津昌弘

# 自己紹介

## ～法人連合体誕生の発火点～

- 1 平成27年の山口県退職に臨むに当たり1つ心残りがあり。
- 2 農事組合法人の行く末、持続化に不安視、最悪は解散の可能性。
- 3 卒業論文の感覚で「集落営農法人連合体育成の意義」並びに「集落営農法人連合体に対するJA出資の意義と有用性」を6月から執筆。
- 4 8月に上記2を県幹部に法人連合体の育成に関する制度設計を提言。
- 5 平成28年度から単県事業として全県で本格的推進の開始。
- 6 先駆モデルとして平成28年5月から約5年間、法人連合体「アグリ南すおう株式会社」の設立と業務運営に携わる。
- 7 現在、山口県内の連合体法人の育成活動に関して助言指導を行っている。

# プレゼンの切口

令和5年12月富山県集落営農に関するアンケート結果  
合併や広域連携の課題と法人へ支援策ニーズに焦点

来場の皆さんが聞きたいこと

- 1 なぜ、今、法人連合体が必要なのか？
- 2 法人連合体とは何か？
- 3 法人連合体にメリットがあるのか？
- 4 どうしたら法人連合体を造れるか？

# プレゼンの次第

第1章 法人連合体設立の背景

第2章 法人連合体の構造モデル

[山口県の17法人連合体の紹介]

第3章 法人連合体のメリット

第4章 事例紹介「アグリ南すおう(株)」

第5章 法人連合体設立の手順と留意点

第6章 法人資源点検調査と連合体法人設立設計書の作成方法と留意事項

➡ 添付資料で説明

突然  
連合体の話？



今、聞く必要あるの？  
まだ先でもよいのでは？

農事組合法人構成員

法人設立後10年後  
状況変化



内部・外部不経済の進展  
が法人解散の導火線

影響

地域農業

地すべり・山崩れへ

対応策

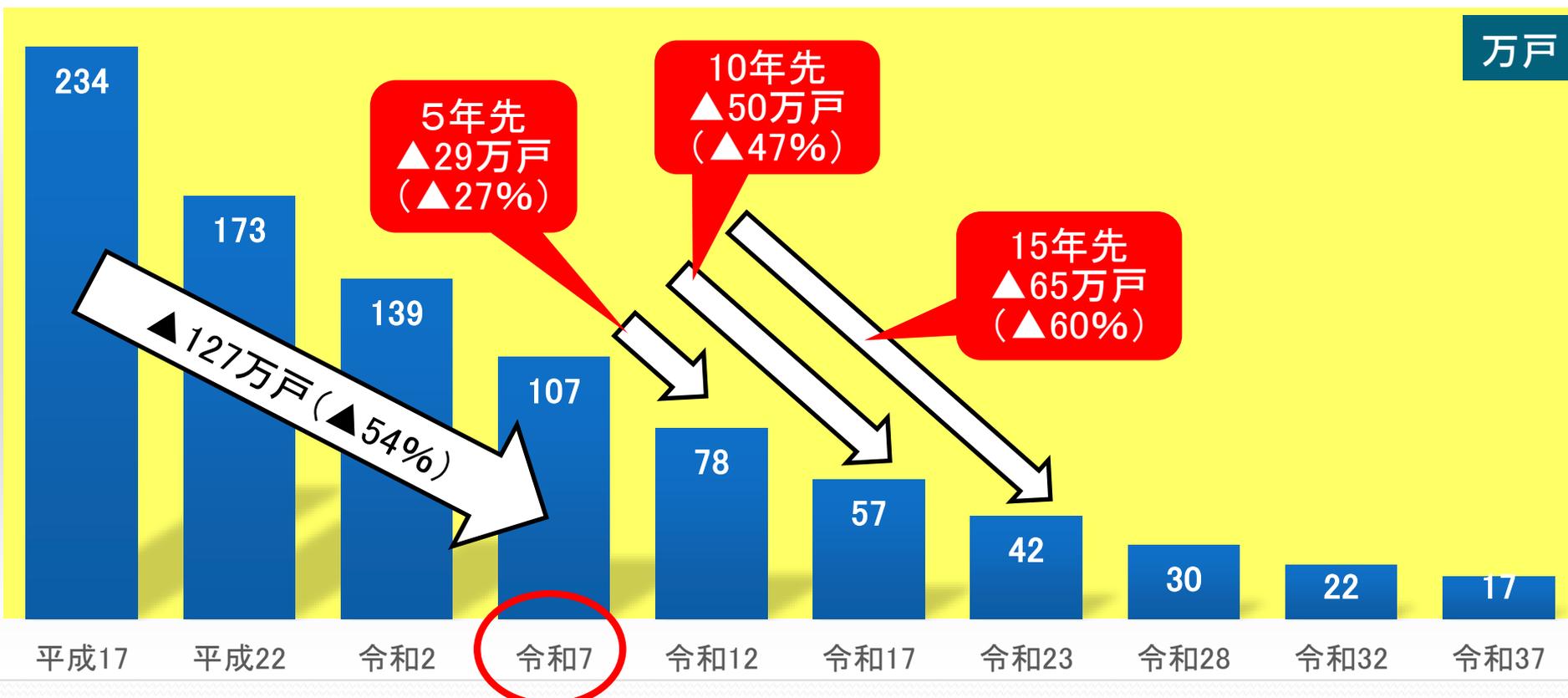
法人の主体性発揮、収益増強、次世代の戦略的確保  
を實踐できる広域営農体制しか生き残れない

連合体体制に進化

# 全国の農家数（農家+法人）の動向

引用：三菱総研コーホート分析

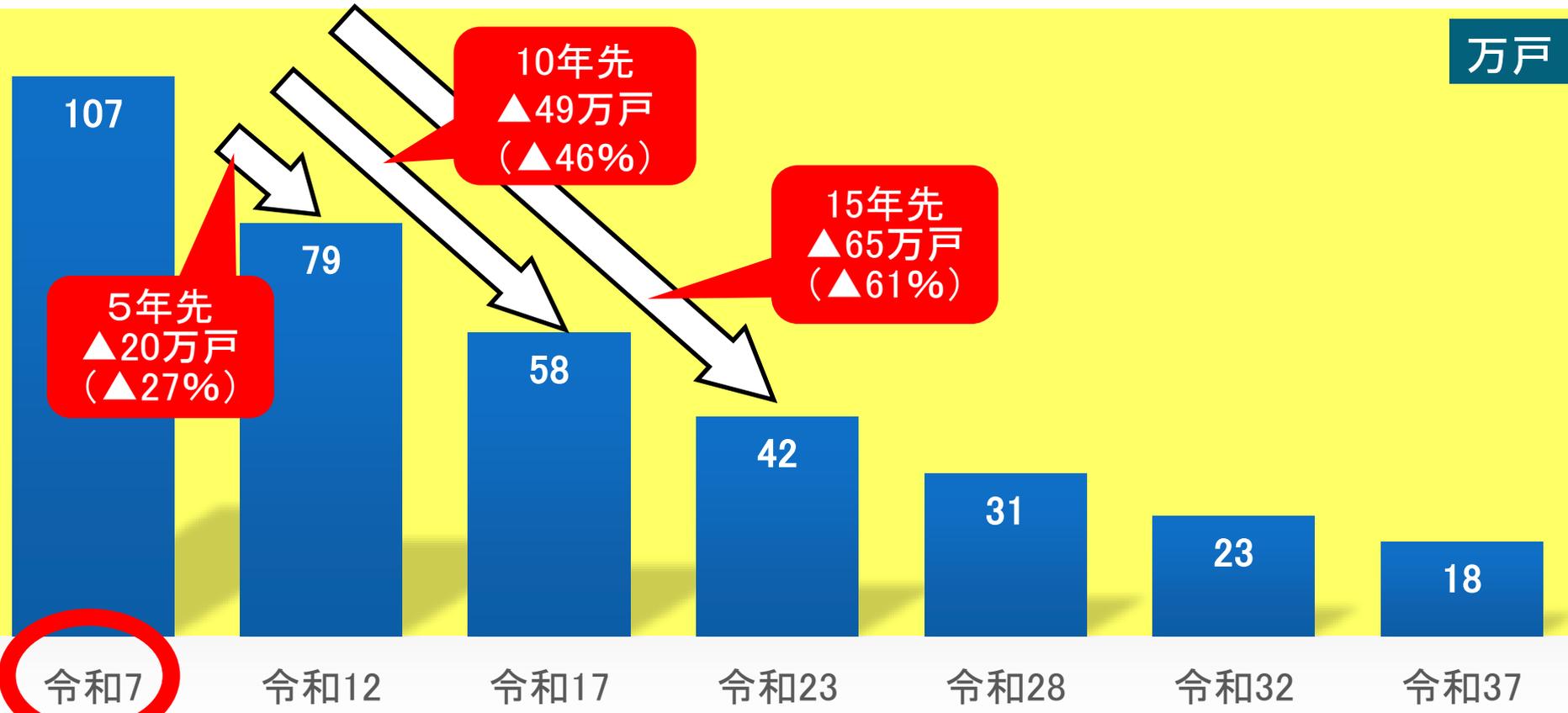
令和17年（22年前）の全国の農家数が234万戸に対して、令和7年には127万戸減少、対54%減と半分に減少した。さらに5年後の令和12年に29万戸減少、27%と3割ほど減少する予測。また10年後の令和17年には80万戸の減少、46%減少と半分に減る。以上から農家は年々減少することが推計され、農産物の生産量も縮小する可能性がある。



# 全国の農業経営体数(販売農家+法人)の動向 5

引用:三菱総研コーホート分析

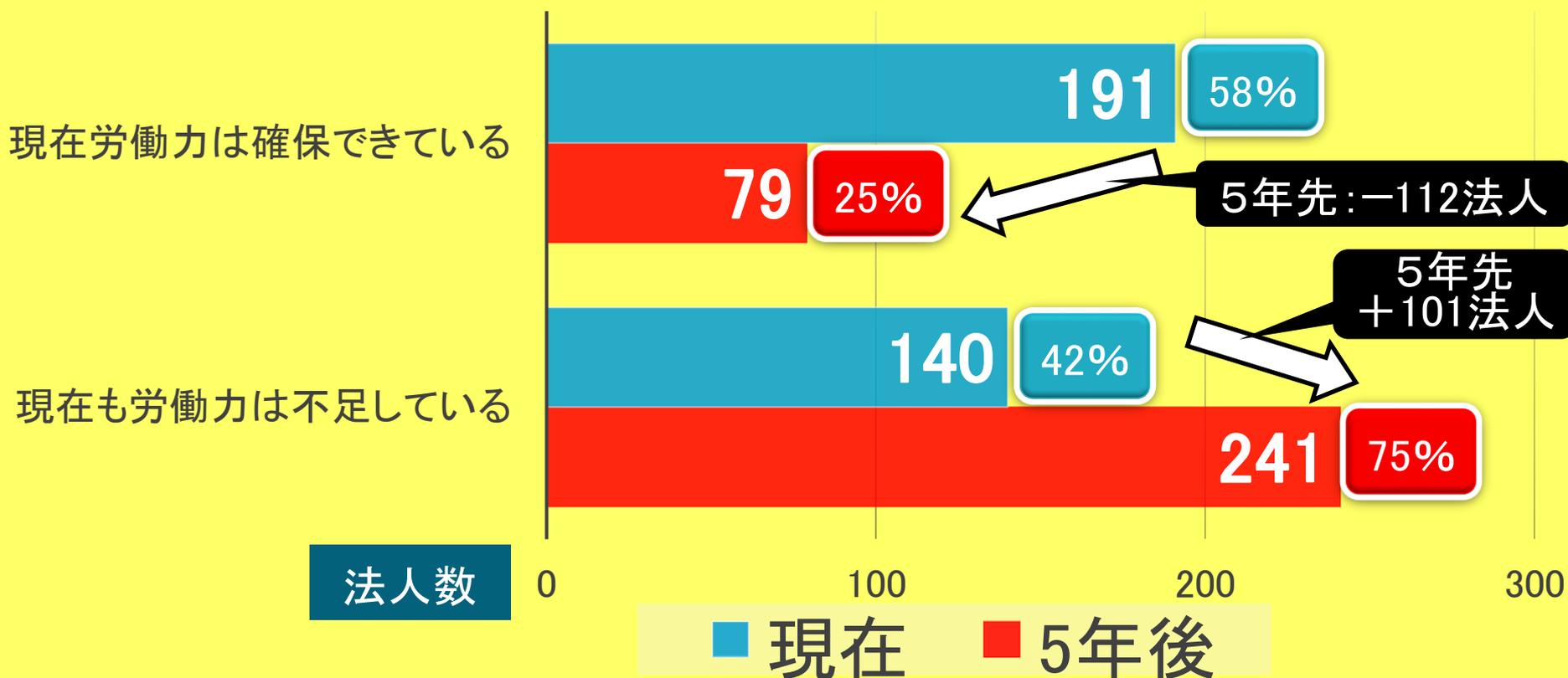
令和7年は107万戸から、5年後の令和12年に20万戸減少、27%と3割ほど減少する予測。  
また10年後の令和17年には40万戸の減少、46%と半分に減る。  
以上から、経営体数も同様な減少割合と推計される。



# 富山県内の法人労働力の動向

引用：令和5年12月集落営農に関するアンケート結果：回答数354法人

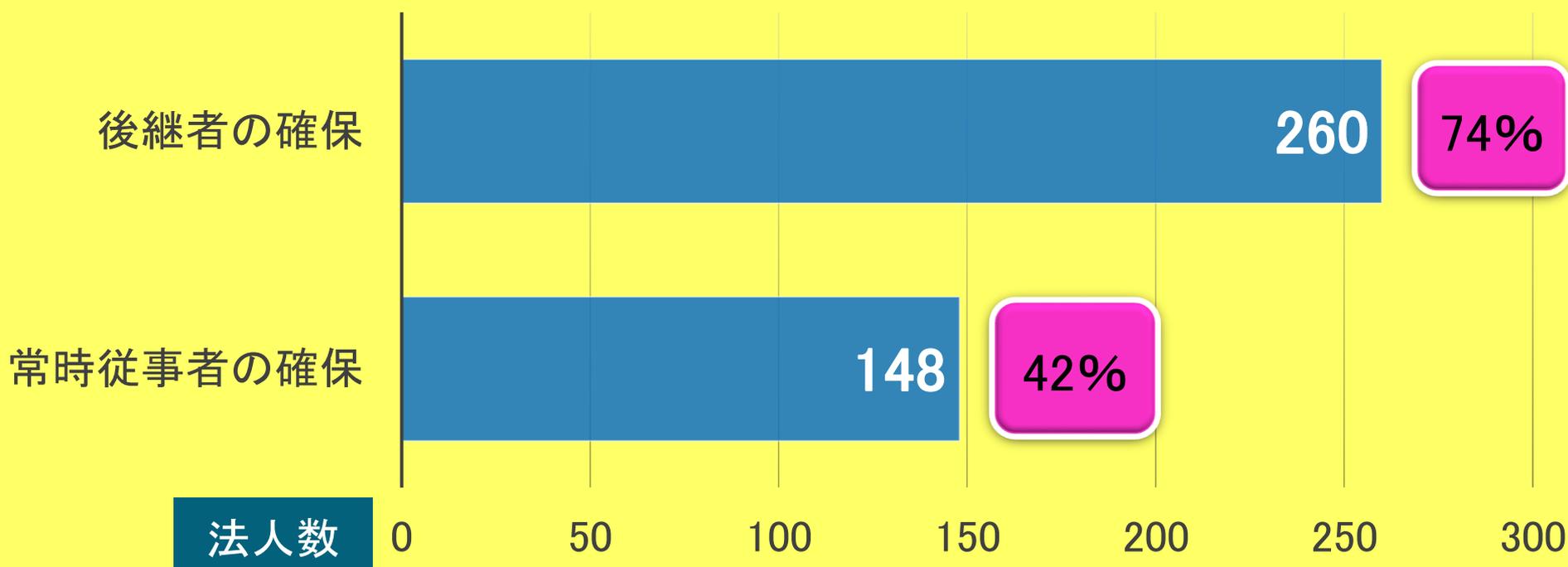
現在（令和5年）の法人の労働力が確保できていると回答した法人は191、58%と6割であるが、5年先（令和10年）には112法人減少し、79法人と1/4まで減少してしまふ。一方、現在（令和5年）に労働力が不足している法人数は140と4割を占めるが、5年後は241法人と101法人増加、全体の75%、2/3が労働力不足に不安を意識している。



# 法人の営農継続における困りこと

引用：令和5年12月集落営農に関するアンケート結果：複数回答数354法人

法人の営農を継続するための課題として、後継者の確保が260法人、全体の7割が認識している。また、常時従事者の確保は148法人と全体の4割を占める。言い換えると、これら後継者と常時従事者の確保ができないと、いずれ法人運営にいき詰まる危険が差し迫っている。

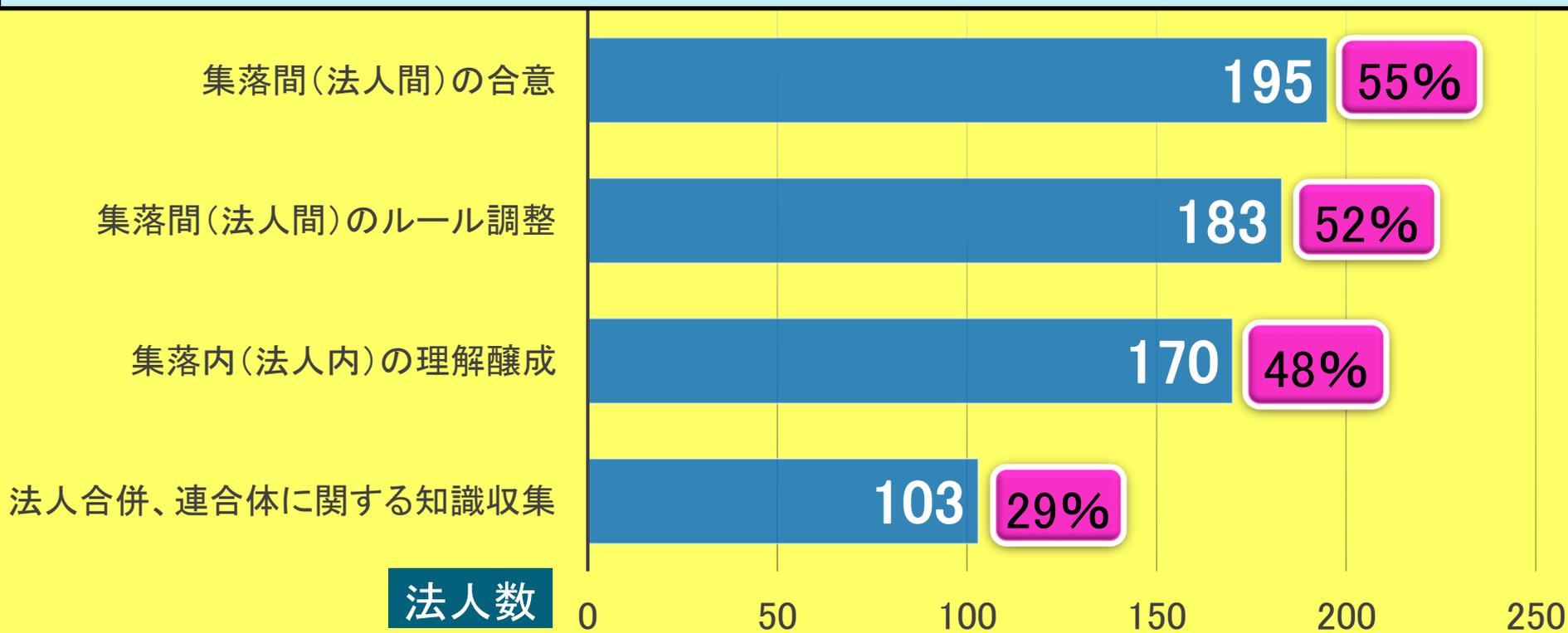


# 法人合併や連合体形成の課題

引用：令和5年12月集落営農に関するアンケート結果：複数回答数354法人

法人の合併や法人連合体の形成に当たって課題（ハードル）として、関係集落間（法人間）の合意形成が195法人と半分を占める。法人合併や連合体の事業実施で一定の当事者同士のルールづくりと該当集落内の農家（法人内組合員）の応身合併や連合体の必要性、メリットなど納得しなければならない法人が180前後、半分を占める。

最後にそれら課題の追求に対する専門知識や事例など情報が必要である法人が103と3割ほどある。



## 2 各グラフからまとめます

### 農事組合法人の現状とこれからの課題とは？

農事組合法人の**当初目的**は、限られた作業労力で受益農地を維持・保全する  
(最低限農地が荒れなければ当面OK、当初から後継者育成の準備が希薄)

数年間経過

**内部不経済が深刻化**

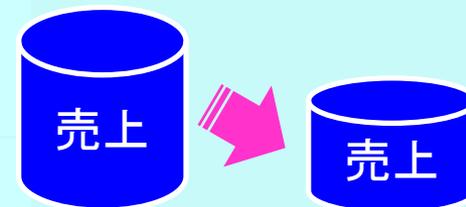
農事組合法人の労働力が限界点に接近

- ① 設立当初の役員は高齢化、固定化、リタイヤーが適期作業を遅らせる
- ② 若い従業員を雇用するための給与保障ができるほどの収益力が低い

**外部不経済が侵食**

経済のグローバル化が農産物販売競争を激化、資材の高騰

- ① 人口減少社会の到来が農産物需給のパイを縮小化
- ② 燃料や肥料・農薬の高騰、農業機械の価格上昇
- ③ 他業種と雇用したい従業員の奪い合い競争で不利



法人の解散がカウントダウン

## ① 役員の高齢化、組合員の減少、後継者不足

- ・作業オペが減少し、作業が適期にできない。
- ・法人組合員など補助労力の衰退がオペや役員に更なる負担を強いる。草刈作業が深刻化。

- ・収量の低下
- ・品質の低下
- ・売上収入の低下

運転資金  
が先細り

## ② 収入規模が小さく若者を雇用できない

- ・7月～9月、12月～3月の農閑期に現金収入に結び付く農作業がない。しかし月給は支給しなければならない。

- ・法人就業者の人件費が利益を圧迫している。
- ・新規雇用に二の足を踏む。

## ③ 若い従業員の給与額は低く、頭打ち

- ・近隣の他業種の所得と比べて低い。
- ・労働意欲の減退
- ・若者は結婚できない。

- ・突然、退職してしまう。
- ・次の従業員の雇用はほぼ無理。

## ④ 大型機械の更新、施設整備が高負担

- ・高価な機械の更新、新規作物に必要な機械施設など設備資金が大きな負担となる。

- ・機械や施設の更新スパンを延長しか手立てがない。
- ・その間に修理費が嵩み利益が喰われる。

	A構造	B構造
法人連合体モデル	<p>各法人が出資し新法人を設立する</p> <p>新法人X(株、合同、事業組合)</p> <p>出資 出資 出資</p> <p>農事組合法人 JA 認定農業者</p>	<p>既存の特定法人に出資する</p> <p>集落営農法人Y</p> <p>出資 出資 農地委託</p> <p>A農事組合法人 B農事組合法人 C農事組合法人</p>
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新法人Xは農協法に縛られず自由な共同事業の選択ができ、雇用者の周年の作業種目幅が広がり、雇用者の身分保障が強化できる。</li> <li>●同規模の法人で設立しやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●法人Yの規模拡大戦略が存在する。</li> <li>●将来、他法人の高齢化に伴い、適宜、他法人の農作業や農地管理の主体者は自ずと法人Yに集積される。</li> <li>●農業経営以外の事業はできない</li> </ul>
設立条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>●協定書は不要、新法人Xの定款や設立趣意書を援用。</li> <li>●後継者(従業員)の育成計画がある。</li> <li>●受益規模は100ha以上。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●法人Yと法人間で事業や運営、後継者育成等を定めた「協定書」を締結する。</li> <li>●法人Yの作業能力に余力(労力・機械・運転資金)がある。</li> <li>●受益規模は100ha以上。</li> </ul>

## 2 連合体法人の組織形態

集落営農法人が構成員となる組織形態は、①株式会社、②合同会社、③事業協同組合、④有限責任事業組合の4つ。

連合体法人の組織形態は農事組合法人が良いと思えるが、農協の2重化を招くため、農協法に基づく農事組合法人形態は不可。よって農協法に規定されない、上記4つの形態から選択することになる。一番のお勧めは株式会社です。

	特 性	①株式会社	②合同会社 (LLC)	③事業協同組合	④有限責任事業組合 (LLP)
法 令	預かり金	会社法	会社法	中小企業等共同組合法	有限責任事業組合法
目 的		営利事業	共同事業	共同事業	共同事業
社会的信用力	法人資格の有無、対外信頼度	◎	○	○	△
人材の確保力	若者と雇用契約	○	○	○	△～×
法人等へ支援力	土地利用権設定(ただし購入はすべて×)	○	○	○	○
	共同機械施設導入の優位性	○	○	○	△～×
	JA等との共同販売	○	○	○	○
設立と運営力	設立手続の簡便・経費の安さ	27万円	15万円	15万円	9万円
	余剰金の内部留保	○	○	○	×

#### 表1 山口県内の構造別法人連合体数

出資パターン	出資方法	法人連合体数	占有率
A構造	新法人に出資	11(従業員3法人)	65%
B構造	既存法人に出資	6	35%

#### 表2 山口県内の組織別法人連合体数

詳細は手引書のP28

出資パターン	組織形態	法人連合体数	占有率
A構造	株式会社	8(従業員3法人)	47%
	事業協同組合	2	12%
	合同会社	1	6%
B構造	任意組織(協定書締結)	6	35%

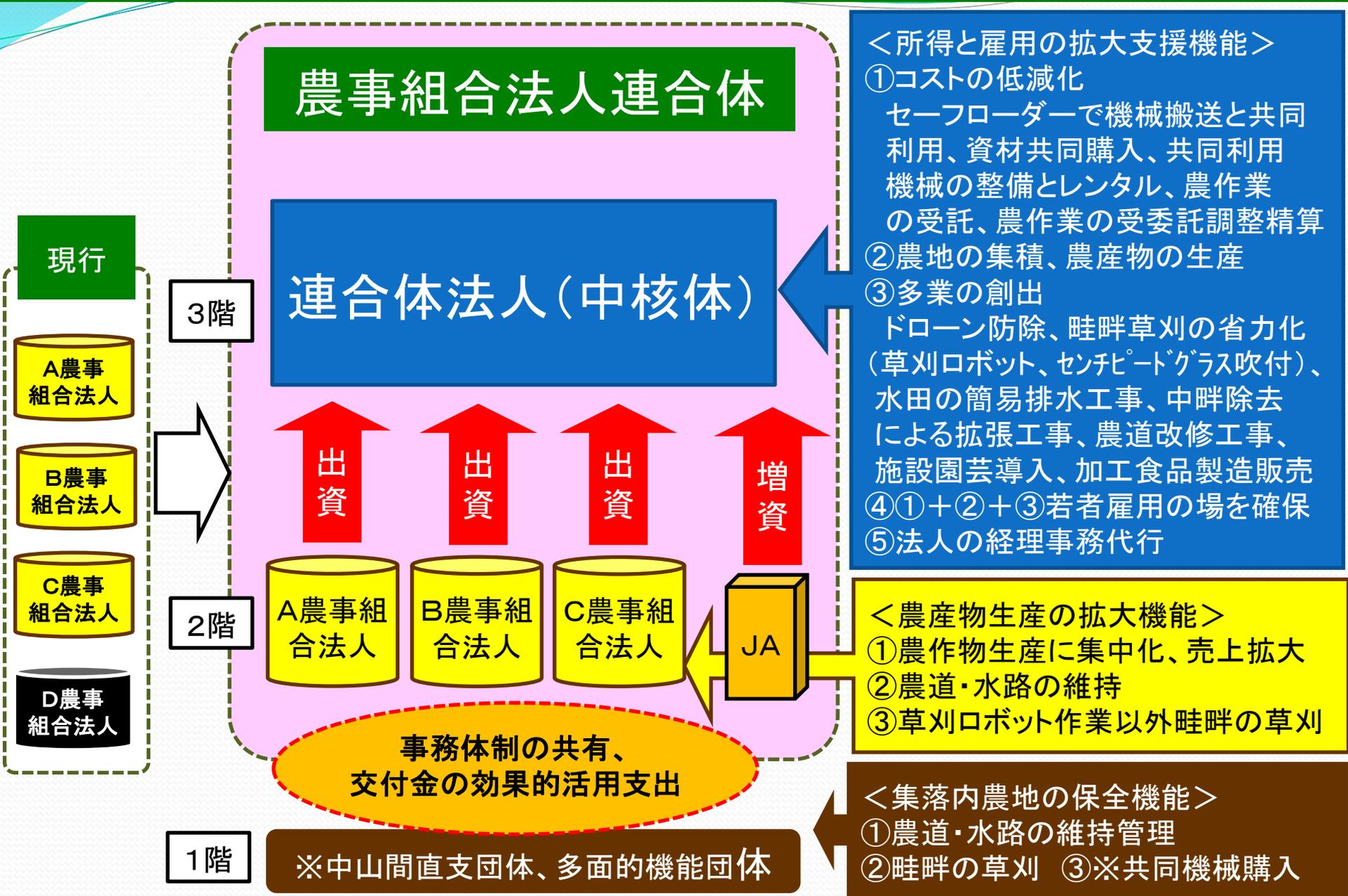
# 4 山口県内の13連合体法人の事業概要(R3)

## 主要事業

	事業名	事業内容(法人数)
1	農作物生産	大豆、麦、冬トマト(1) 水稲、麦(1)
2	作業受託	ドローン防除(6) 無人ヘリ防除(2)
3	資材共同購入	水稲・大豆・麦(7)
4	共同利用 (レンタル)	大豆コンバイン(3) 水稲コンバイン(1) 野菜定植機(1) ニンジン堀取り機(1)
5	その他	農作業受委託調整(2) 労力補完(2) 人材育成(2) ドローン教習(1)

## 固定資産

		機械・施設名(法人数)
1	広域利用 機械	ドローン(6) 無人ヘリ(2) 大豆コンバイン(3) 大豆播種機(2) トラクター(2) サブソイラー(2) フォークリフト(2) 乗用管理機(2) 田植機(1) 水稲コンバイン(1) 育苗機械・水稲播種機(1) キャリアカー(1) トラック(1) ユニック付トラック(1) センチピードグラス吹付装置(1) 動力噴霧機(1)
2	農地、構築物	農地(1) トマトパイプハウス(1) 育苗ほ場(1) 育苗ハウス(3) 格納庫(1)



# 6 法人連合体の機能(役割)

## 法人連合体の機能

- A 法人経営の持続を支援する(落ちこぼれを出さない、護送船団で)
- B 法人の次世代を連合体法人と各法人両輪で育成・確保する

AとBを一体的に実践するプラットフォーム機能を連合体法人が担う

## 5つの戦略事業

A

- ① 年を取り残されるオペレーターの作業負担増を軽減する事業
- ② 連合体法人が雇用する従業員が法人で不足する作業を支援する事業
- ③ 機械の一元的導入と広域利用による機械コストを削減する事業

B

- ④ 各法人が協力して従業員の技術スキルアップさせる事業
- ⑤ 周年雇用の場を創出し次世代の年間所得を獲得する事業

ゴール

可能な限り持続を図り、農事組合法人の運営を強化

## 1 生産コストの低減化事業

- ① 資材(肥料・農薬)等の共同購入で変動費の低減化
- ② 機械の一元購入と共同利用(2~3法人単位)による固定費の低減化



売上高  
純利益  
の増大

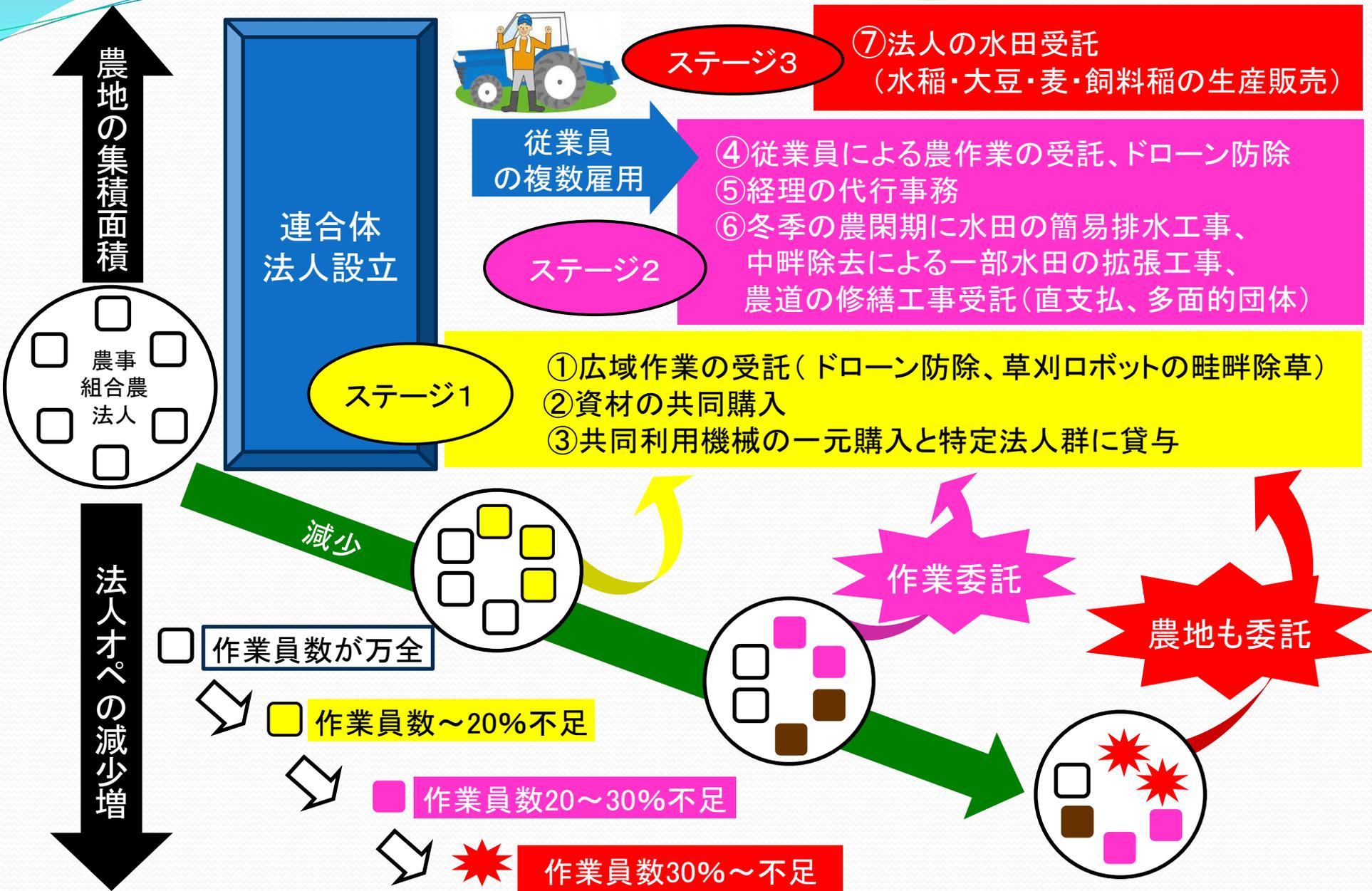
## 2 出資法人の水田の作業受託・農地受託事業

- ① 出資法人オペの高齢化、身体的限界に伴う現役のリタイヤーによるオペ不足から作業委託の要望を応えるため、会社従業員が代替作業を行う。さらにオペ不足が深刻化すると、農地そのものを引き受けて、大豆や麦、野菜を直接に生産・販売する。

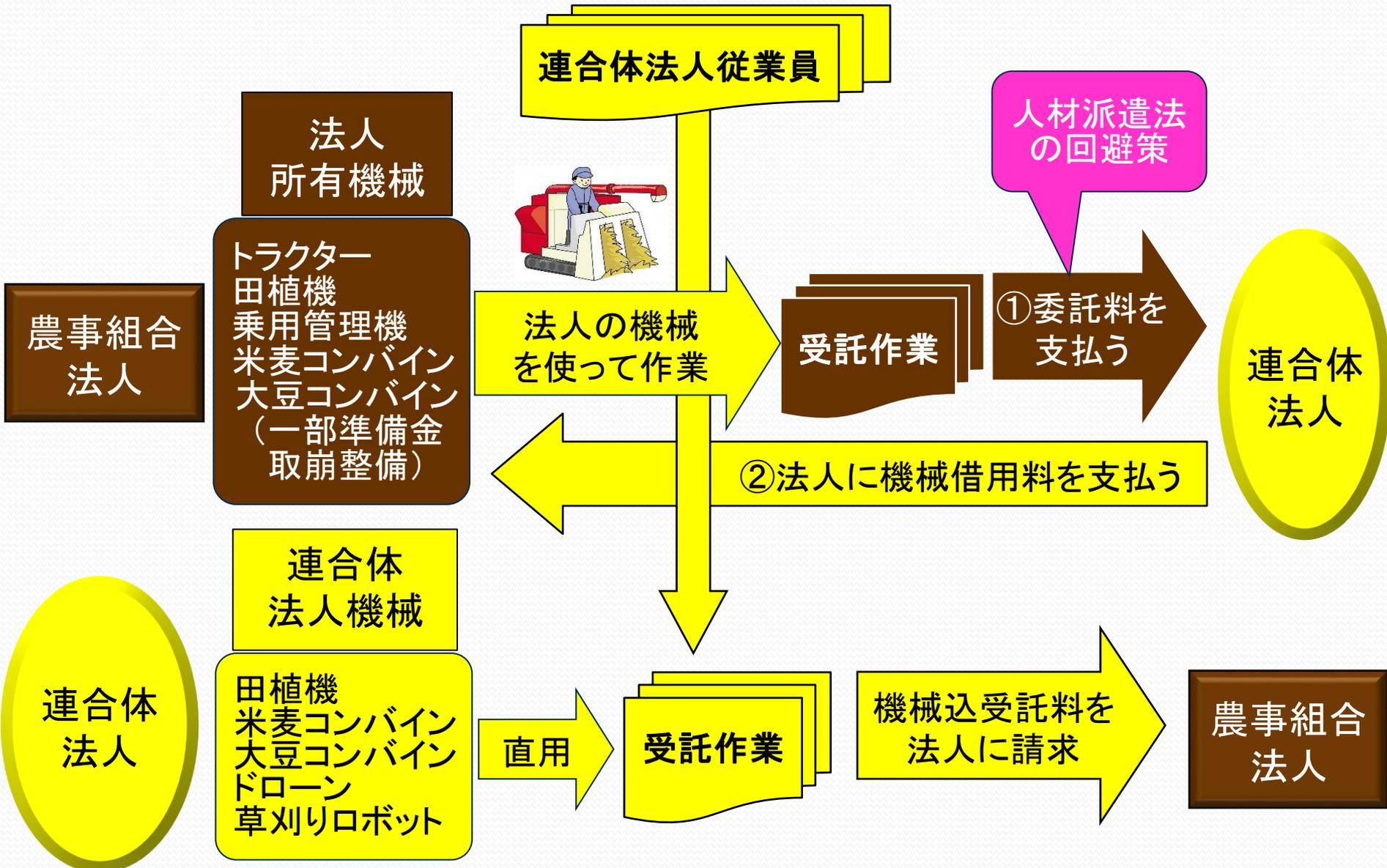
## 3 次世代(作業オペレーター、将来の法人リーダー)の確保事業

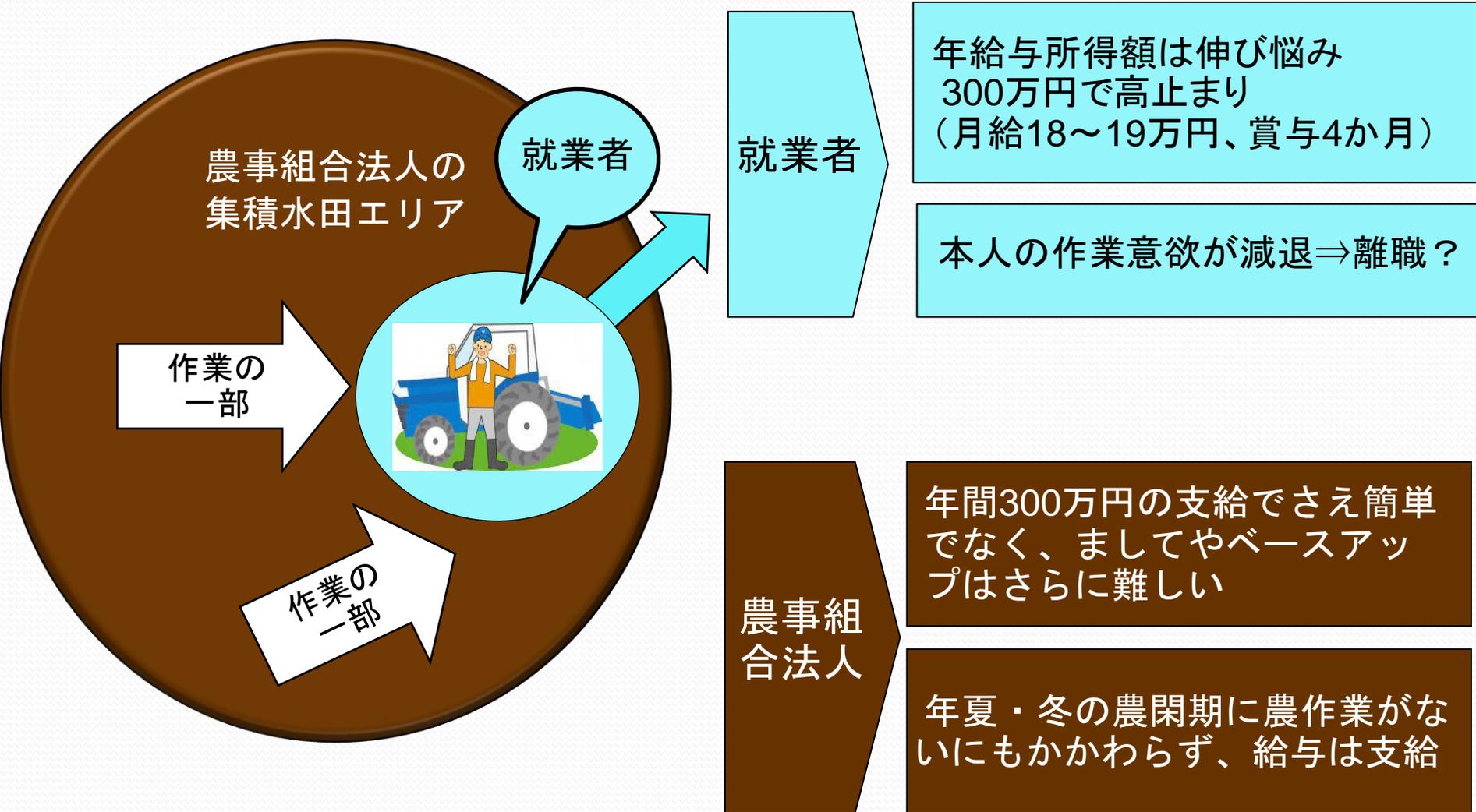
- ① 各法人のオペ不足状態に併せて、必要となる作業支援を連合体法人が従業員を計画的に雇用する。
- ② 出資法人全員が従業員の技能と実践力を習得させるべく集団指導し、1日でも早く法人から信頼できるプロオペレーターとして育成する。
- ③ 従業員数を最少化するため、団地化、慣行農業技術体系に加え、少人化農業を整備する。(例: 肥培センサー付きドローン、GPSトラクター、GPS田植機など)





# 9 受託作業時の機械所有別の受託料の精算方法





# 10—1連合体法人と農事組合法人の次世代の確保条件 21

## 雇用契約成立条件➡

連合体法人・法人・求職者の3者のメリットが同時に成立する

連合体  
法人



①法人から委託された受託作業の受託料収入が計画的に見込める。

②受託水田で作物生産と販売収入行為により農地適格化法人資格を取得、共同利用機械の整備に県・国の補助を受け、初期費用を低く抑えて安価な作業受託料が設定でき、法人の低コスト化に貢献できる。

農事組合  
法人



①春作業と秋作業の作業ピーク時に必要となる作業支援が受けられ、結果、作業が適期に行われ、安定した収穫量を確保できる。

②不足する作業だけのオペレーターを要請できることで作業労賃が低く抑えられる。

③無理して自前で従業員を雇用しなくてもよく、人件費が節約でき、経営や資金の圧迫を避けられる。

求職者



①地元中堅企業と比べ年間所得が比較的高く、さらに75才まで現役を続けられて生涯賃金所得も高いことから人生設計が組める。

②福利厚生が整備されており、年休、残業手当、住宅手当、交通費の支給など他社と遜色がない恩恵が受けられる。

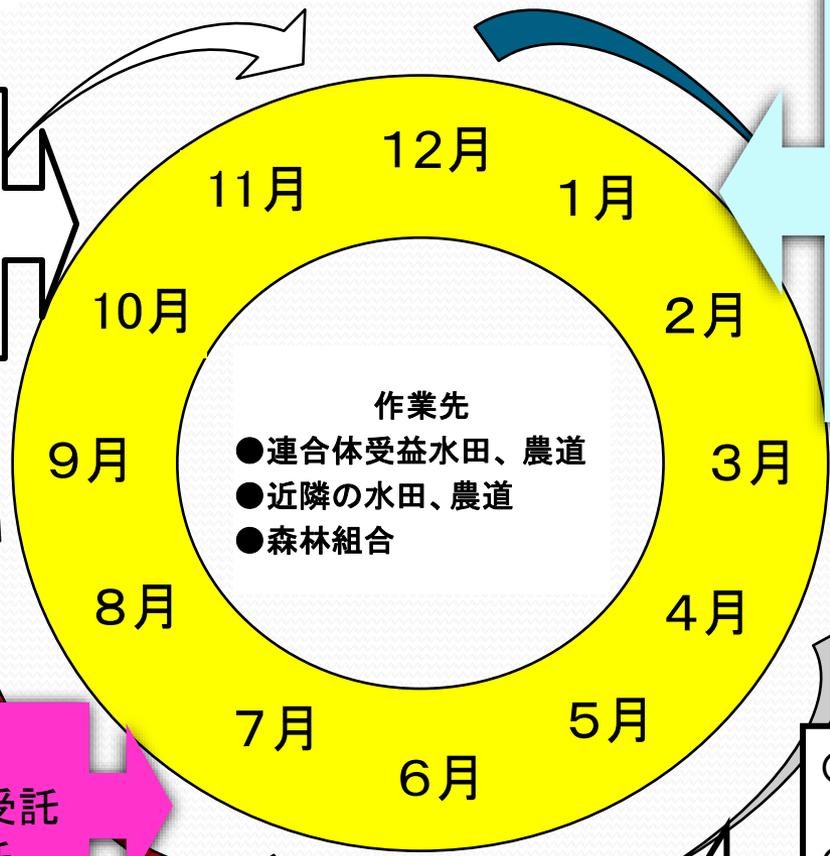
③本人の努力次第で高く評価されると将来連合体法人の幹部や法人の役員に出世できて高給与と社会的地位が得られる。

# 10-2 次世代(連合体法人従業員)の周年雇用モデル 22

- : 農作業受託
- : 農外作業請負

## 冬季農閑期

- 小麦鎮圧作業受託
- 排水不良個所の暗渠工事請負
- 水田の均平工事請負
- 中畔除去で水田の拡張請負
- 農道の修繕請負
- 森林組合で間伐作業受託
- ※上記5つは法人以外の近隣農家、法人からも請負する



- 水稻収穫作業受託
- 大豆収穫作業受託
- 小麦播種作業受託
- 小麦排水作業受託

- 田植え準備受託 (耕うん・代掻き)
- 雑草成長抑制剤散布(法人)
- 田植え作業受託
- 小麦収穫作業受託
- 大豆播種作業受託
- 草刈ロボットで除草受託

## 夏季農閑期

- ドローン防除受託
- 草刈ロボットで除草受託
- 大豆の中耕培土受託

“ヒト”

出資法人全体の次世代の確保と継承がより現実化できる

- ①各法人の労力減少にタイムリーに必要なだけの作業が会社から受けられる。(会社従業員の労働力をシェアし合う)
- ②会社従業員のスキルが磨かれ支援作業の精度が上げられる。
- ③複数の従業員の一部は、将来各法人に就業し組合員となるか、リーダー、幹部となることで法人経営の継承ができる。

“コスト”

法人経費が節約できる

- ①連合体法人が整備した機械を数法人が低い利用料で共同利用できる。結果、他の資金運用が楽になる。
- ②資材の共同購入で資材価格の低下が期待できる。

“カネ”

新しい農業ビジネスが起業でき、利益がさらに各法人にも還元できる

- ①夏の農閑期ドローン防除、畦畔除草の省力化(近隣水田も請負い)
- ②冬の農閑期に水田の簡易排水工事、中畔除去による水田拡張工事  
農道の改修工事(近隣水田も請負い)
- ③園芸施設の整備、付加価値米の販売、農協法に縛られず高齢者向け中食製造販売、除雪作業受託など自由な事業が取り組める



H30年9月21日商標登録

# アグリ南すおう(株)

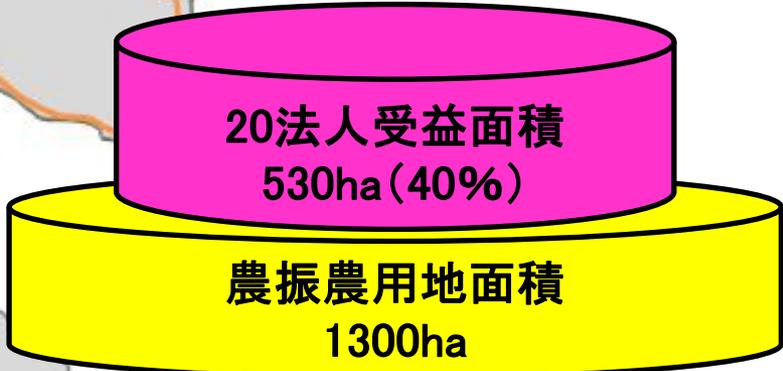
令和29年4月5日法人登記

- 1 組織体制
- 2 会社設立後4年間を振り返って良かったこと
- 3 H28年法人資源点検調査結果
- 4 アグリ南すおう(株)戦略～7本の事業
- 5 アグリ南すおう(株)事業損益

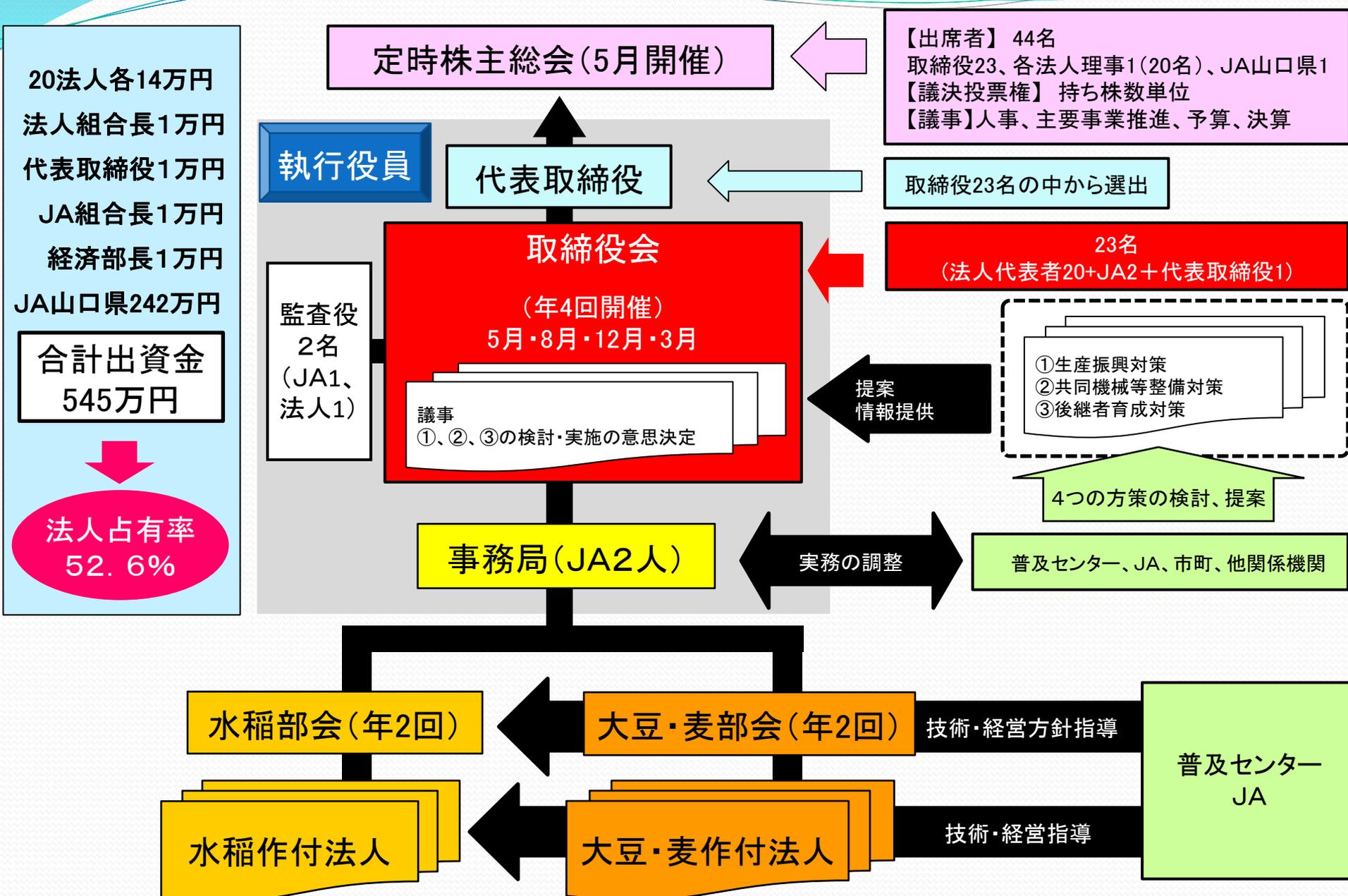
# 山口県



柳井市  
光市 (旧大和町)  
田布施町



# 1 アグリ南すおう(株)の組織体制



## 2 会社設立後4年間を振り返って良かったこと

27

1 肥料農薬の共同購入で低コスト化  小麦→△17% 大豆→△12% 水稲→△7%

2 会社が機械施設の一元購入で法人の資金融通が楽になった

補助金活用(13/30)、機械・ハウスを整備、法人へ安価に貸与

大豆コンバイン890万円⇒400万円  レンタル料12,500円/10a(一般料金の半額)

アスパラガスハウス2,400万円⇒1,360万円  4法人売買(分割返済)

3 直営事業により法人の農作業が省力化

無人ヘリ防除作業  散布料 3,000円/10a (JA3,200円)

センチピートグラス吹付作業  吹付面積年間15,000㎡(9ha)

吹付単価286円/㎡(業者 委託440円)

4 農閑期の雇用を提供

7月～9月無人ヘリ防除作業  法人の若者4名がのべ35日、75万円供与(2,000円/時)

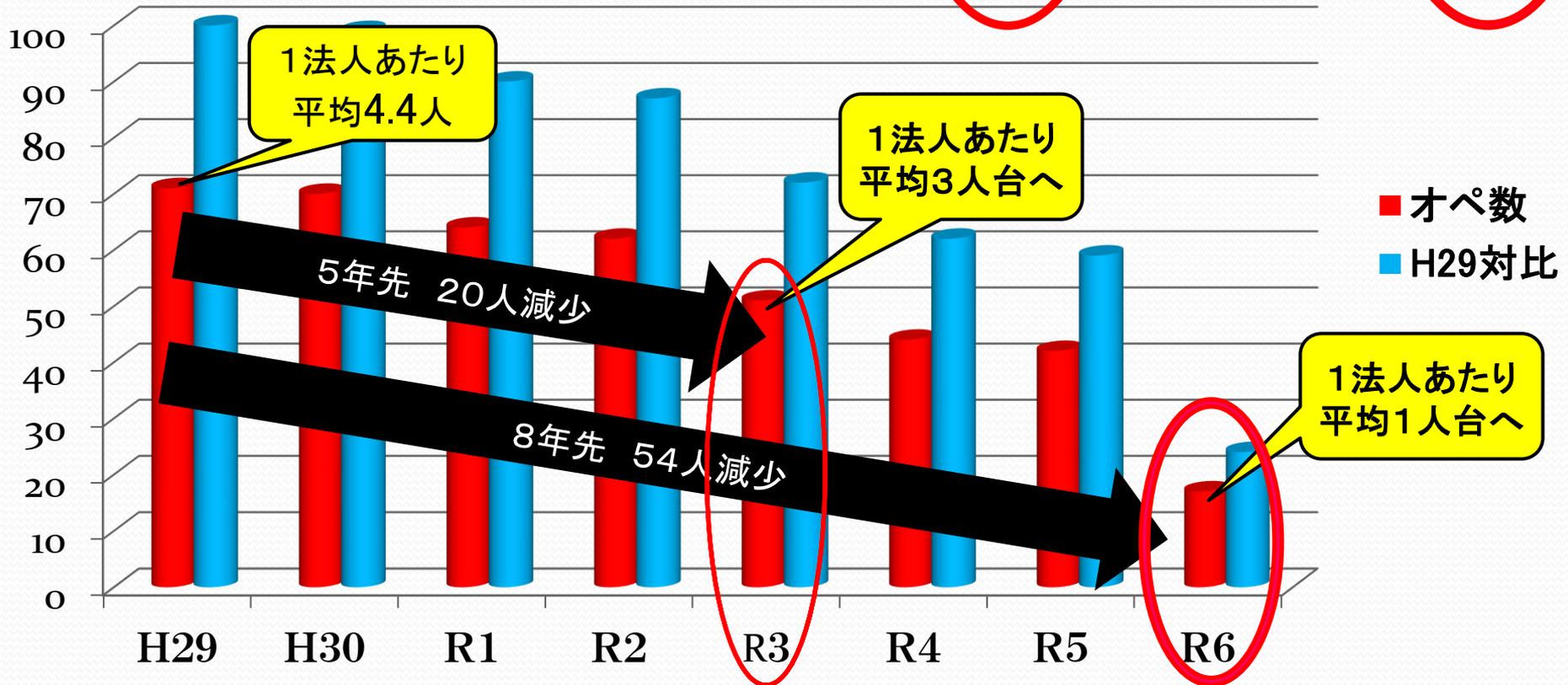
センチピートグラス吹付作業  法人から6名出役、5日間作業、のべ45万円を支給  
(15,000円/日)

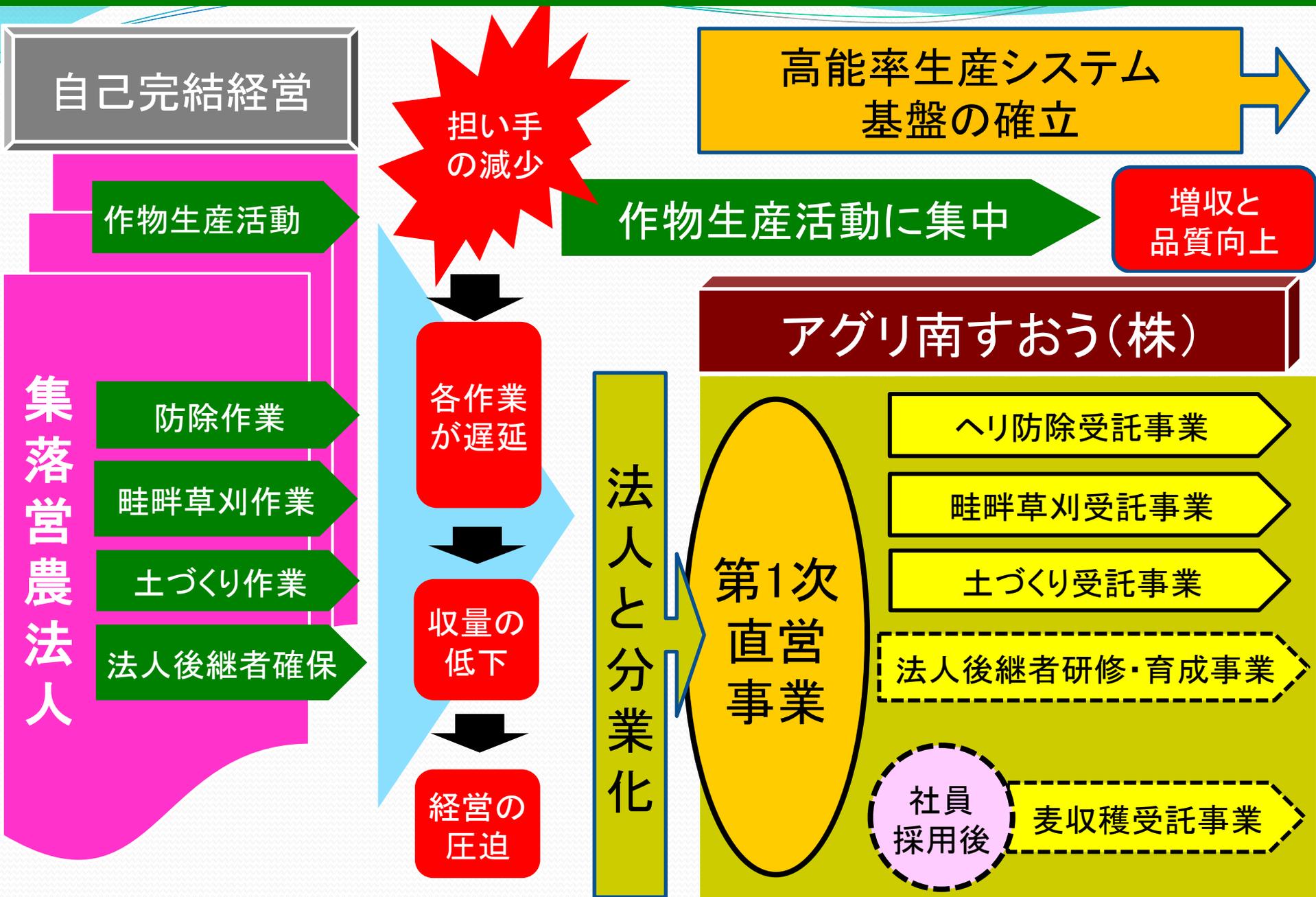
5 法人就業予定者を法人が協力して育成する体制ができた

 複数法人が1年間指導し、R1年4月に2名法人就業

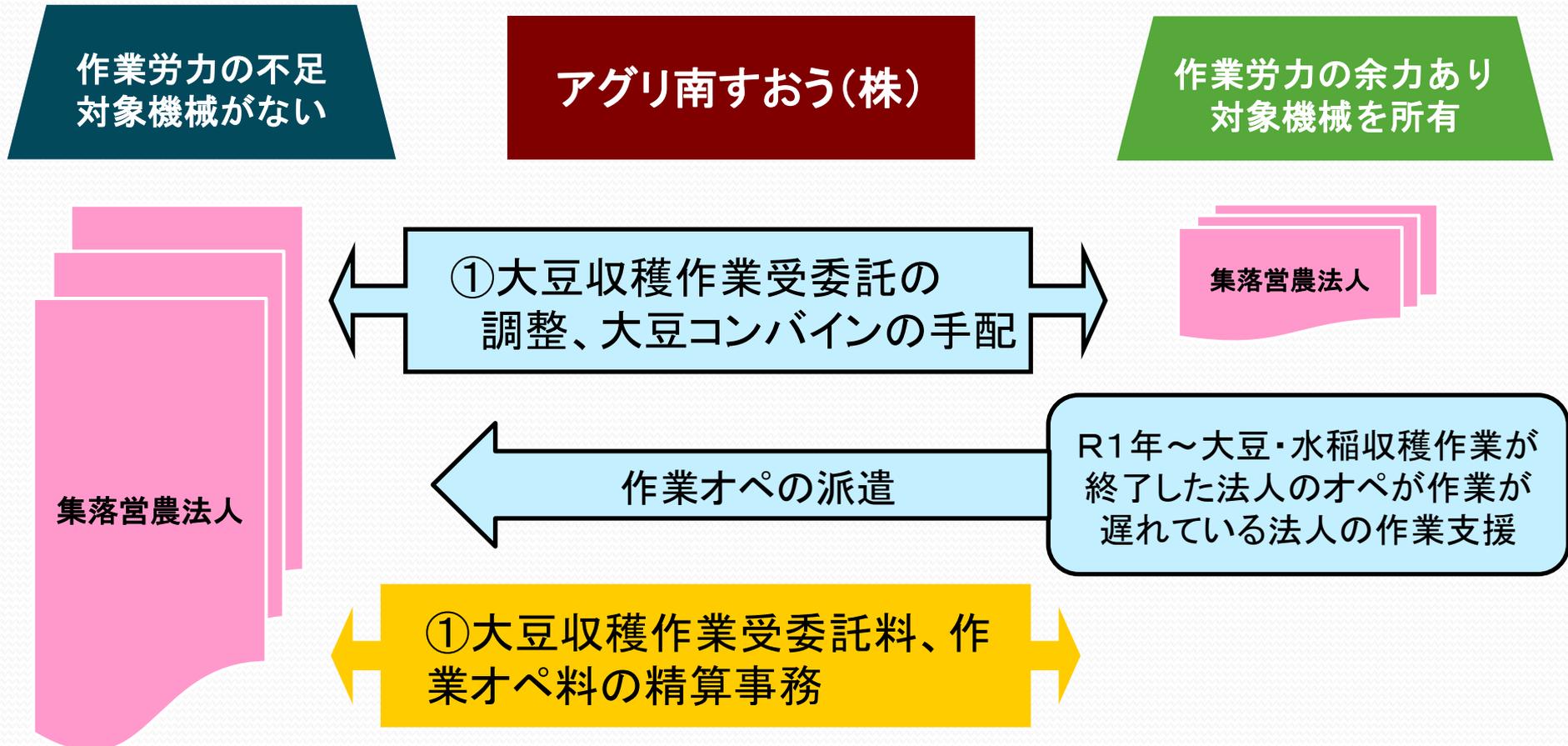
# 3 法人役員・主要才ぺ数が減少へ (H28年法人資源点検の結果)

	1年先	2年先	3年先	4年先	5年先	6年先	7年先	8年先
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
実才ぺ数(人)	71	70	64	62	51	44	42	17
H29(100)対比	100%	98%	90%	87%	72%	62%	59%	24%





作業労力が不足する法人や緊急に作業委託したい場合、会社が受け手との調整・斡旋し、受け手が作業する農地をできるだけ集積・団地化させ、作業効率を高める。



・収穫物や土改材を運搬するクレーン付き4tトラック1台整備

・クレーン、玉掛けの技能資格者を5名育成(H29年2月)

県1/3、中央会1/3

H28:トラック  
(1000万円)



レンタル料  
7,000円/日

H29:サブソイラー  
(50万円)



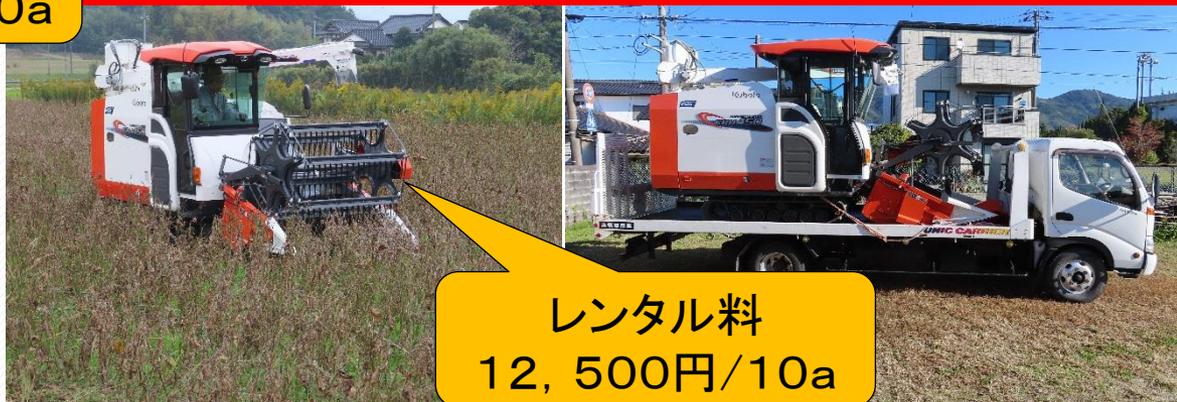
レンタル料  
400円/10a

H30:動噴機(センチピードグラス吹付専用)  
(100万円)



レンタル料  
1,000円/日

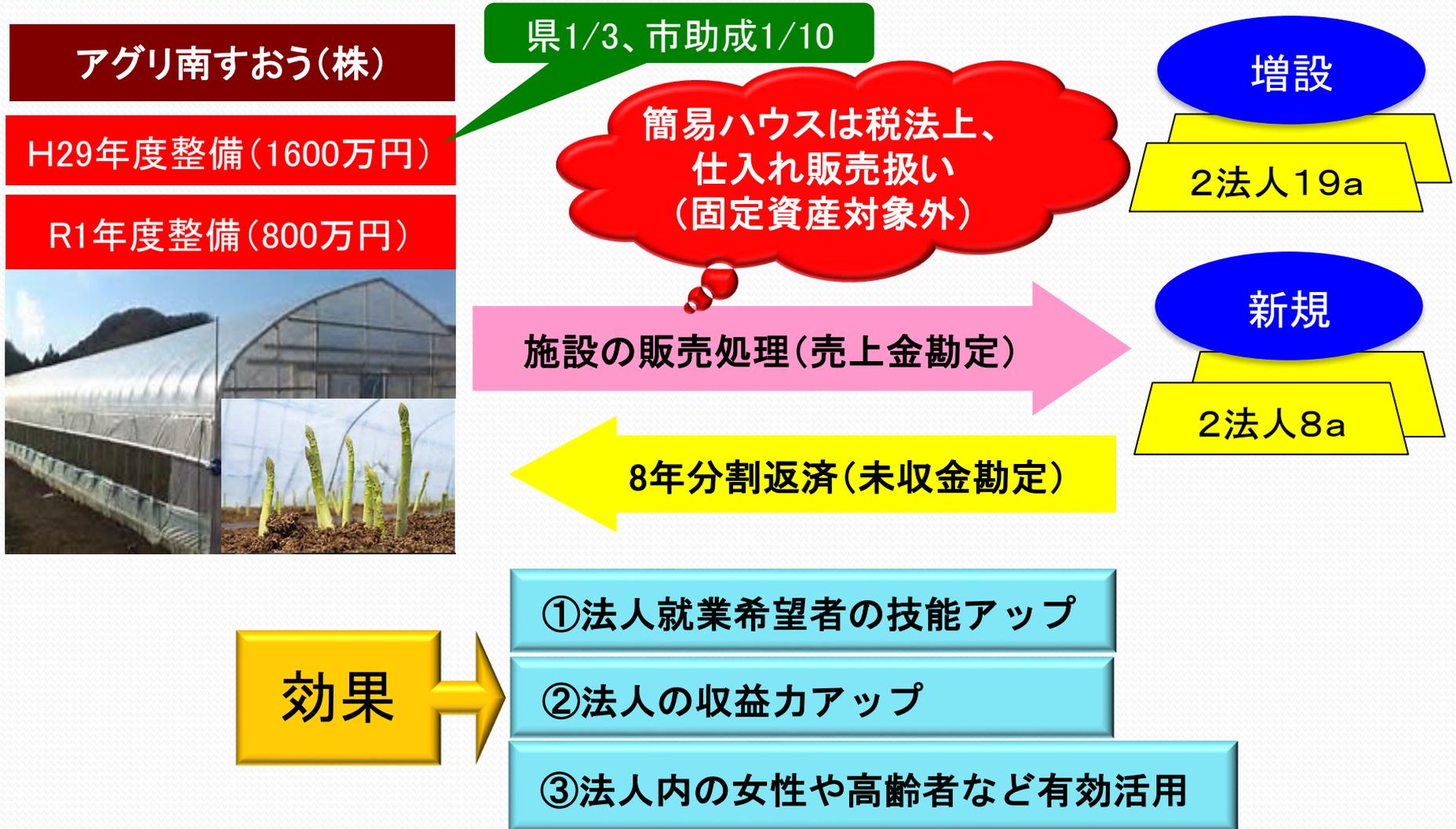
R1:大豆コンバイン(713万円) R4:1台追加



レンタル料  
12,500円/10a

水稲・麦・大豆・タマネギ・飼料イネ収穫物、土改材の運搬

アスパラガスハウス27a、4法人に補助事業で整備。税務法上、売買経理処理し、補助金圧縮額を耐用年数で除した額(手数料5%加味)を分割返済(2年据え置き)



会社は、法人就業希望者に対し、1~2年間、基幹法人に在籍し、機械操作技術から各作物の栽培管理を広く学ぶ。各法人が得意分野で分担指導する。準備期間開始時に、就業先法人を決めておく。R2に2名就業した

会社直営事業
省力除草作業受託(センチピート吹付、草刈ロボットによる高畦畔除草)
米、大豆収穫の受託作業・搬送

J A 直営事業
広域施設の乾燥調整作業
選果施設の選別作業



2018.4~

農大卒業1名

直接就業1名

アグリ南すおう(株)

研修カリキュラム調整

指導法人と調整役

研修指導給付金の受け皿

実践技術の習得

アルバイト(雑収入)

B法人(イチゴ作業)

A法人(麦作業)

一定期間就業者を分担指導

C法人(タマネギ・キャベツ作業)

D法人(アスパラガス作業)

2019/4 法人に2名就業



農閑期(6月後半から9月上)に、法人の若手ら作業部隊を編成し、無人ヘリ防除、畦畔除草の受託、野菜の定植作業など、法人の若者に雇用の場を用意。余った時間を米・麦・大豆の安定生産、露地野菜の作付拡大に結びつけられる。

## 直営事業

無人ヘリ防除作業(H29～) 2,500円/時

センチピードグラス吹付作業(H30～) 15,000円/日

水稻ほ場

水田畦畔

小麦ほ場

大豆ほ場

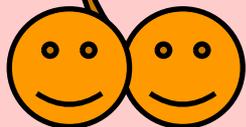
出役労務

法人に  
作業委託

人材派遣法の  
回避策

作業受託

法人の若いオペ



現行のJA所有の無人ヘリ1基とH30年度整備した無人ヘリ1基で法人と一般農家との併用散布。各法人の資格者が4人が交互に操作し、労働対価を供与。

今後、2基とも3年先に500時間を超えオーバーホールとなるため、次期は第2世代ドローン機を2機に切り替え(タンク容量16L、24L・ハイブリッドエンジン方式またはエンジン発電方式の併用)とヘリ併用等を検討の上で機種選定を行う。

## H30年7月20日最新鋭無人ヘリ導入(1500万円)

無人ヘリ操作資格者  
6名を育成(H29年3月)

会社収入の増加  
R1:売上額930万円、利益額230万円  
法人作業報酬R1:3名、75万円



17法人専用の水稲・麦・大豆空散  
→水稲2回防除、のべ350ha

散布面積15ha~17ha/日



### ドローンの利点

- ・補助対象
- ・価格が安い
- ・散布料3000円/10a以下が可能(試算で2800円)
- ・オペの育成と操作が容易で、法人で単独操作も可
- ・低空飛行で墜落の危険はない

### ヘリの問題点

- ・次期ヘリの更新は補助対象外
- ・高価格(1500万円)
- ・資格料60万円と高い
- ・高度な操作能力が必要
- ・電線に接触し墜落の危険性高

### ドローンの問題点

- ・降下気流が弱く、カメムシや秋ウンカに効きにくい
  - ・バッテリーの交換がいる
- 135万円/台
- ※マゼックス社がワンバッテリーで2ha,16Lタンク散布ドローン発売

# 4-7 直営事業 センチピードグラス吹付受託事業

H30年から法人水田の高い畦畔にセンチピード吹付作業を法人の若手を雇用して作業を実施

4月から10月まで草刈は不要。作業期間は6月末5日間、オペ6名、年15000㎡吹付

中山間直接支払  
交付金、多面的  
機能交付金の活  
用

4面、畔幅1m

286円代/8g/㎡

35,000円/10a (換算)

業者: 400円/㎡  
56,000円/10a

刈払機による除草

8,000円/10a (慣行)

H30年整備(740万円)

H30/6/20吹付

吹付機・タンク  
(だるま製紙)



H30/6/20吹付  
(50日目)

4月から10月  
まで草刈不要



(養生材)  
天然素材のり

原料② 今治ブランド  
タオル糸 (綿100%) の  
廃材

原料① だるま製紙所商品  
「敷紙」を販売先から回収  
した切れ端



H29/6/20吹付

2018.09.18

# 5-1 アグリ南すおう(株)事業損益

37

	万円	H29年度 (第Ⅰ期)	H30年度 (第Ⅱ期)	R1年度 (第Ⅲ期)	R2年度 (第Ⅳ期)	R3年度 (第Ⅴ期)
1売上額 A		2,304	4,050	4,736	7,200	7,650
2原価 B		2,236	3,628	4,407	6,460	6,650
3販売管理費(減価償却費込) C		148	872	769	370	450
4経費合計額 D=B+C		2,384	4,500	5,176	6,830	7,100
5営業利益額 E=A-D		△80	△450	△440	370	550
6営業利益率 E/A		—	—	—	5%	7.1%
7営業外収入額(補助金) F		1,484	1,782	900	0	0
8経常利益額 G=E+F		1,404	1,332	460	370	550
9特別損失額(固定資産圧縮損) H		956	1,140	285	0	0
10税引前当期純利益額 I=G-H		448	192	175	370	550
11法人税等額 J		110	61	47	100	150
12当期純利益額 K=I-J		338	131	128	270	400
13当期純利益率 L=K/A		14.6%	3.2%	2.7%	3.7%	5.2%

従業員雇用  
なし

# 5-2 R3年度(第V期)主要事業収支決算

	事業名	事業種目	売上額	経費	万円
1	資材共同購入事業	水稲・麦・大豆の肥料、農薬	4,600	4,465	135
2	車両機械レンタル事業	ユニック、サブソイラー、大豆コンバイン	200	150	50
3	施設整備事業	アスパラハウス分割返済金	400	0	400
4	農作業受委託事業	大豆収穫作業受委託調整料	1,000	970	30
5-1	直営事業	無人ヘリ防除事業のべ400ha	1,000	750	250
5-2		センチピート吹付事業1.5万㎡	450	315	135
	小計		7,650	6,650	1,000
<p>売上総利益率                      13%=利益1,000/売上7,650                      (業種別基準)                      卸売業10~20%                      小売業25~35%</p>					
6	営業外収入	補助金、視察謝金なしで試算	0		0
7	販売管理費			450	△450
8	合計(税引き後)		7,650	7,250	400

2年間

1 連合体育成チーム会の発足 (JA・県・市)

2 連合体検討協議会の発足  
(法人代表・JA・県・市)

法人の問題と連合体の必要性  
(概念)を問題提起、継続検討

3 法人  
資源  
点検

現状

役員・補助労働者(名、年齢、男女、担当名)、就業者採用希望年  
土地面積、品種別作付面積、機械(機種、整備年、更新予定年)

将来

役員・補助労働者(名、年齢、男女、担当名)の現役期限  
土地面積、品種別作付面積

4 調査結果を分析し連合体設立設計書(運営方針、各事業の5年間収支書)作成

5 調査結果と連合体設立設計書の提示

各法人定例会等で説明

合意

6 発起人会  
の発足

目論見書、定款の決定、登記までのロードマップ

機関設計の作成(組織図、社長、取締役、出資金額、事務局)

7 創立総会

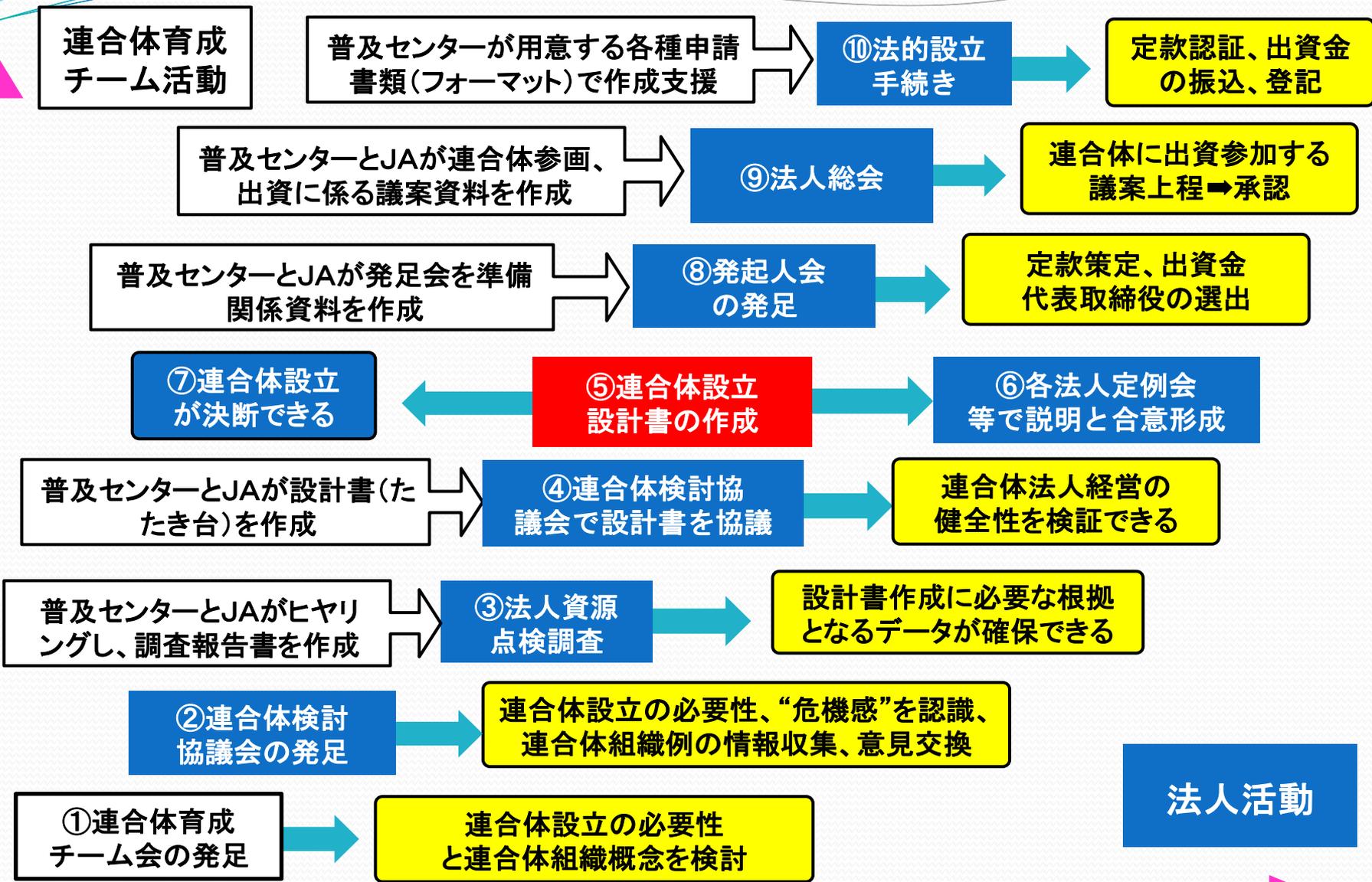
8 定款認証

9 出資金の振込

10 登記

# 2 連合体形成に対する法人活動の内容と意味

活動の積み上げ



法人活動

時間

農事組合農法人を取り巻く内部不経済、外部不経済は時間経過とともに増大し、法人の持続が危険領域に入る

これを例えれば、目には見えずとも、津波が20km先からこちらに向かってきている。手を打たず、現状維持は法人だけでなく、地域農業自体が水没してしまう。共通の敵は皆で協働して打ち破ろう。

津波が見えてから動くのでは遅い。津波に持ち応えられる防波堤を今から備えていくべきと腹をくる。(防波堤はすぐに建設できません)



各法人が心を1つになれば、防波堤となる「農事組合法人連合体」は必ず建設できる。  
生き残りをかけて、今こそ、皆一緒に前へ踏み出そう。

おまけ

# 富山県の農事組合法人の 未来にエール(～山口から)

夢なき者は, 理想なし

理想なき者は, 計画なし

計画なき者は, 実行なし

実行なき者は, 成功なし

ゆえに

夢なき者は, 成功なし

(連合体が法人の未来を拓く)



吉田松陰